

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：対話と創造によるデザイン ILAS Seminar :Design through Dialogue and Creativity			担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 教授 十河 卓司		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2026・前期	受講定員 (1回生定員)	20(15)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	木5	教室	教育院棟演習室23			使用言語	日本語
キーワード	デザイン思考 / 水平思考 / 傾聴 / インタビュー						
[授業の概要・目的]							
人々が抱える問題やニーズを把握し、ビジネス上の新たな解決策を創出する手法として、近年、デザイン思考が注目されている。また、地球温暖化やエネルギー問題など、重層的で複雑化する現代の諸問題を解決するためには、異なる分野の専門家がチームとして協働し、さまざまな視点で総合的な解決策をデザインすることが求められている。広義のデザインを目的とするこうした活動においては、チームメンバーを含め、他者との対話を通して問題を探り出すスキルや、アイデアを創造的に生み出すスキルが求められる。 本セミナーでは、デザイン活動に必要なこれらのスキルについて、実際にデザインを実践しながら修得することを目指す。							
[到達目標]							
・他者とのコミュニケーションに関わるスキルについて理解を深め、実践することで、対話に基づくデザインができる。 ・発散思考と収束思考、水平思考と垂直思考などについて理解し、問題発見と問題解決のそれぞれの段階においてそれらを意識した議論ができる。 ・さまざまなフレームワークについて学び、それらを活用して、自分たちで考案した解決策をさらに洗練させ、他者に効果的に伝えることができる。							
[授業計画と内容]							
以下のような内容を取り上げるが、履修者の理解の状況等に応じて適宜調整する。 実習は基本的にグループワークで行う。 第1回～第6回 対話と創造の手法 ・イントロダクション ・垂直思考と水平思考 ・デザインのプロセス ・さまざまな思考法 ・傾聴 ・インタビュー 第7回～第14回 デザインの実践 ・フィールドワーク ・問題の深堀り ・解決方法のアイデア創出 ・ストーリーを考える ・実現可能性を検証する ・プレゼンテーション 第15回 フィードバック							
ILASセミナー：対話と創造によるデザイン(2)へ続く↓↓↓							

ILASセミナー：対話と創造によるデザイン(2)

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

出席と実習への参加状況（50点）

課題提出（20点）

最終レポート（30点）

【教科書】

使用しない

適宜、プリント等を配布する。

【参考書等】

（参考書）

授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

デザイン実践においては、グループで議論した内容をもとに、授業外で自分なりに整理したり調査したりすることを期待する。その他、適宜、講義中に指示する。

【その他（オフィスアワー等）】

・ オフィスアワーは設定しない。質問があればメールにて随時受け付ける。

sogo.takushi.6x [at] kyoto-u.ac.jp

・ キャンパス周辺でフィールドワークを行う可能性があるので、学生教育研究災害傷害保険に加入しておくこと。

・ 本セミナーでは、専門分野に固有のデザイン理論や手法（例えば環境や防災）については扱わない。

【主要授業科目（学部・学科名）】